

1 本校の特色

令和4年度で創立52年目を迎える地域とともに歩む引佐の伝統校である。校区は、北部は山間地域、南部は民家が集中し平地が広がっている。生徒の90%以上が自転車通学であり、6km以上の遠距離通学者が例年15%程度いる。地域住民や保護者の学校への期待は大きく、とても協力的である。生徒のほとんどは、井伊谷小、金指小、奥山小の3つの小学校から入学する。

本校生徒の特徴は、とても素直で明るく、指示されたことに真面目に取り組めることである。反面、自己表現が苦手でコミュニケーション能力に乏しい面がられる。学習面では、向上心(欲)があまりないように思われるが、行事や部活動には地道に取り組むエネルギーをもっている。一人ひとりに目を向けると、発達上の課題や複雑な家庭環境等から問題を抱えている生徒や不登校生徒等、配慮が必要な生徒もいる。

十数年前の大きな荒れから立ち直ったのは、当時の教職員の努力は勿論であるが、保護者や地域の皆様の大きなご支援のお蔭だと捉えている。現在は全体的に落ち着いているが、小さなほころびから大きな生徒指導の荒れにつながる可能性があるので、「生徒のいるところに教師あり」の姿勢を継続していきたい。また、生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、受容的に関わり支援していきたい。

2 本年度の学校経営構想(裏面のグランドデザイン参照)

(1) 基本的な考え方

コロナ禍3年目であっても、常に、「南中の生徒ファースト」の姿勢で工夫した教育活動を行っていくことで、生徒や保護者、地域の信頼が得られると考えている。

教師と生徒の合言葉 「日本一幸せな学校に」

あいさつと清掃ができれば何でもできる
勉強と諸活動に全力で取り組む

(2) 目指す生徒像

- ① 人とのかかわりを大切にし、自立できる生徒
- ② 創造的に考え、学びを楽しむ生徒
- ③ 熱中し、感動を大切にする生徒
- ④ 基本的な生活習慣を身に付けた生徒

(3) 目指す学校像 「日本一幸せな学校」 ～感謝・挑戦・感動あふれる学校～

- ① 一人一人の生徒を大切にする学校
- ② 教育活動が充実している学校
- ③ 保護者・地域と共につくる学校

(4) 学校経営目標 チーム学校の推進による学校の組織的な教育力の充実

- ① すべての生徒が夢・志を育み、それらを叶えられる力を培う教育活動を推進する。
- ② 自他の「いのち」を尊重する教育を推進する。
- ③ 一人一人を大切にして自己肯定感を高め、生徒・教師が「誇り」に思う集団を作る。
- ④ 主体性を重視し、生徒が主役となり、生徒・教師が「好き」と言う教育活動とする。
- ⑤ 主体的・対話的で深い学びへの授業改善を柱に、キャリア教育の視点やICT等の活用を取り入れながら、生徒がわかり、「好き」と言う授業を実践する。
- ⑥ 不登校・いじめ0を目指し、発達支援教育の理念に基づく人権教育の充実を図る。
- ⑦ 一人一人の気持ちに寄り添い、尊敬され憧れられる魅力ある教職員を育成する。
- ⑧ 法令を遵守するとともに、働き方改革を推進して、子供と向き合う時間を確保する。
- ⑨ 社会に開かれた教育課程を柱にして学校運営協議会(南中CS)を地域とともに立ち上げる(学校や生徒の課題を共有し、できることから少しずつ始める)。
- ⑩ 給食費の公会計化にとまなう新会計システムを順調にスタートさせる。